

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：地域振興対策費

事業名 清流の国ぎふづくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域振興課 地域プロモーション係 電話番号：058-272-1111(内2099)

E-mail：c11143@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,317 千円 (前年度予算額：6,216 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,216	0	0	0	0	0	0	0	6,216
要求額	10,317	0	0	0	0	0	0	0	10,317
決定額	10,146	0	0	0	0	0	0	0	10,146

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・本県のアイデンティティである「清流」を、県内外や海外を魅了するブランドや、そのイメージとして確立する必要がある。
- ・「清流ミナモ賞」や、「清流の国ぎふ」マスコットキャラクターミナモの活用をはじめ、各種広報グッズにより県内各地での「清流の国ぎふ」づくりを一層盛り上げていくことが必要である。
- ・「清流の国ぎふ」づくりを促進するため、市町村における地域資源を生かした魅力づくり、地域づくりに対して、助言や情報提供を行う必要がある。

(2) 事業内容

ア 「清流の国ぎふ」広報啓発

- ・ぬいぐるみ等広報物の購入
- ・ミナモデザイン、ミナモグッズの制作
- ・ミナモ工房認定校PRグッズ制作資材

事業費…4,660千円

イ 「清流ミナモ賞」表彰式の開催

- ・わがまちへの誇りを高める活動団体を顕彰（平成25年度から）
- ・期日…令和4年10～11月頃

事業費…5,486千円

ウ 地域づくり支援

事業費…171千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県政の広報啓発であることから、県10/10負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	474	「清流ミナモ賞」選定委員会報償費
旅費	592	「清流ミナモ賞」選定委員会費用弁償 清流の国ぎふ広報啓発、地域づくり支援視察等
需用費	1,521	ミナモグッズ（広報啓発用）及び「清流ミナモ賞」記念品購入費等
役務費	1,282	着ぐるみ補修、クリーニング、発送代等
委託料	6,310	「清流の国ぎふ」広報啓発費、「清流ミナモ賞」表彰式
使用料	138	「清流ミナモ賞」会場及び駐車場借上料
合計	10,317	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略
- 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信

(2) 後年度の財政負担

みんなが主役の「清流の国ぎふ」の全県的な展開のため、継続して機運の醸成、体制の整備を図っていく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

広報・啓発事業等により、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりに取り組む機運の醸成や体制の整備を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①「清流の国」商標の使用件数	一件 (H-)	115件	139件	163件	185件	55%
②清流ミナモ賞の表彰団体数	一団体 (H-)	38団体	42団体	46団体	50団体	76%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ● 「清流の国ぎふ」広報・啓発 ミナモグッズ（広報啓発物）作成・配布、着ぐるみミナモのクリーニング及び補修 ● 「清流ミナモ賞」表彰式（直近開催実績） 日時：令和2年9月14日(月) 場所：ぎふ清流文化プラザ 表彰団体：3団体 ● 「清流の国」商標使用実績（新規申請） 1件（令和3年8月末現在） <p>・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果 「清流の国ぎふ」広報・啓発事業等により、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりに取り組む機運の醸成や体制の整備を図った。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

令和
4
年度

令和6年度当初予算にて追加

指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

ア 「清流の国ぎふ」広報啓発

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	本県で開催した「全国植樹祭(H18)」、「全国豊かな海づくり大会(H22)」、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会(H24)」を通し高まった、「清流の国ぎふ」への誇りや愛着をさらに高め、県政全般にわたる本格的な「清流の国ぎふ」づくりを、県民総参加により継続・発展させていくことが必要。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	各地域の資源や強みを活かした魅力的な地域づくり活動に取り組む団体を表彰する「清流ミナモ賞」の開催を通じ、地域への愛着・誇りの醸成に寄与している。 「清流の国」商標の使用件数も、順調に増加しており、成果があがっていると考えられる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	「清流ミナモ賞」の表彰式を県民参加のイベント(SDGsフォーラム)と同時開催することで、効率化を図った。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 引き続き、県内各界有識者など、関係者の意見を幅広く聴収することが必要と思われる。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、広報・啓発事業等により、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりに取り組む機運の醸成や体制の整備を図る。
--